

一般質問

Q & A



「平和への道標」を市役所敷地内へ

Q 太平洋戦争が終わって、72年が経過し、今日、戦後生まれが8割以上である。市民が戦没者を慰霊し、二度と戦争しないよう「平和への道標」を市役所敷地内に建てる考えはないか伺う。

平和への気持ちを示す方法について、検討を進める

A 「平和への道標」は、忠魂碑の説明看板として、市の遺族会が、市内22箇所を設置したものです。市役所敷地内への設置については、後世まで市民の平和への気持ちを示すという点では意義のあることと考えます。今後、遺族会や市民の皆さんのご意見をいただきながら検討していきます。

行財政改革審議会の見直しを求める

Q 行財政改革審議会は、市民のために仕事をし、負担は低く、サービスは高くすることを目指して、平成30年3月まで続くが、審議会の見直しはないか伺う。

今後も審議会などの意見を参考に行政運営を進める

A 財政の健全化を維持しながら、元気で活力ある協働のまちづくりを進めることが真の行財政改革だと考えます。その実現のために、審議会などの意見を参考にしながら、職員への実務教育、研修などを継続的に、常に業務改善の視点を持たせます。結果として、効率化や生産性の向上が図られると考えています。行財政改革審議会の見直しは考えていません。



平和観音像敷地に設置された「忠魂碑」と「平和への道標」

お詫びと訂正

かけがわ市議会だより第60号(8月1日号)の掲載内容に誤りがありました。お詫び申し上げます。誠に訂正いたします。議会、議員の思いや考えを市民の皆さんへ正確に伝えることが「市議会だより」の責務ですが、今回の件については、確認作業の不手際により、山本裕三議員の質問の意図を大きく変えてしまうことになり、重ねてお詫び申し上げます。以後、このようなことがないように再発防止に努めてまいります。

【訂正箇所】

かけがわ市議会だより第60号6ページ下段、山本裕三議員の一般質問の2つ目(見出し及び本文)

(誤)

「We+138」ストアの事業見直しは

Q オープンから営業不振が恒常的に続いており、事業の根底からの見直しが必要ではないか。市として、今後どのようなスタンスで「We+138」ストアの課題に取り組むのか伺う。

(正)

駅前再開発事業の経営不振に関して

Q 事業の根底からの見直しが必要ではないか。事業を承認した行政の立場、事業者の責任において今後どのようなスタンスで「We+138」ストアの課題に取り組むのか伺う。

TOPIC

議会傍聴者の託児開始

今年度から議会傍聴者の託児が行われ、この9月議会には、多くの子育て中のお母さん達が議場に足を運んでくれました。『議会の雰囲気がわかって、とても良い機会だった』『行政に参加している気分になった』などの感想をいただきました。



託児サービスを利用される方は、1週間前までに議会事務局にご連絡ください。